

## I D 問答～新たに始まった、我(ら?)が精神の放浪?!～

作：I & D

⑩「二度あることは、三度ある?」「三度目の正直?」これを、どう解釈すればよいか?!

I：よく、我々(世間)は、「二度あることは、三度ある」とか、「三度目の正直」とか言っていますよね!あまりにも世俗化?されていて、格言としては、正反対の意味のような気がします、何故か、双方とも、実際にはありかなとも思わせるのですが、どうですかね?

D：確かに、どちらも、それなりにありですよ?!でも、どうして、今、そのことを持ち出してきたのですか?今さら何を?、と言うようにも思えますが…?

I：多分、そう来られると思いましたが、実は、今回のパンデミック(新型コロナウイルス感染症)対応に関わって、ふと、そのようなことを思ったわけですが、少し軽薄?な論ともなりますかねえ?!

D：いやいや、それはどうですかね?ひょっとしたら、正鵠を射た問答になるかもしれませんよ?事実、今、それが、現実的な課題として見え始めているのではないのでしょうか?!

I：多少驚きですが、それは、具体的にはどういうことになりますか?

D：要するに、一回目の波の時は、とにかくどういう病気なのかも分からず、その勢威に圧倒された!医療崩壊、非常事態宣言、社会・経済生活の破綻、そのための各種の保障問題。したがって、たまたまの解除宣言。だが、さらなる感染拡大、そして、再びの医療崩壊、非常事態宣言の発出…?言わば、同じサイクルの繰り返しになりつつある?!しかも、その波は、第三波まである(それ以上もある?)とも言う?!そうなれば、まさに「二度あることは、三度ある」であり、しかし、その中で、その経験(反省?)を活かした「三度目の正直」ということもある?そういうことです!

I：変な言い方になりますが、そこでは、まったく同じようなことが繰り返されるかもしれないし、次は、同じような轍は踏まない!そういうこともあるということですね?!

D：まあ、そういうことですが、問題は、二度の?経験(反省?)で、被害・混乱を最小限にするためには、どのような対処をすればよいかということですよ?!改めて、身を持って痛感させられたのは、完全な封じ込めは、今のところ不可能であるということ、したがって、どこかで、現実的な線引きを行う必要があるということ、そういうことですよ?!

I：もちろん、どちらにしても(移動制限も移動解除も)、完全なる成功はないこと、つまり、どちらも、それなりのダメージ・混乱は避けられないということ、そのことを前提にして、次に備えることが重要だということですよ?それが、単なる「二度あることは、三度ある」ではなく、まさに「三度目の正直」ということですよ?

D：全くその通りかと思えます!ただし、いずれにしても、そこで懸念されるのは、一部の?心ない(本当は〇〇など言いたいのであるが!)の人達の意識と行動です?!そこもまた、残念ながら、一つの経験値として、しっかりと前提しておく必要がありますね?!

I：困った、迷惑な人達ということかと思えますが、そういう人達が、人間社会には、一定程度いる?!考えてみると、腹が立ちますが、それが、この人間社会の冷徹な事実とも言えますよね?!

D：まあ、とにかく、二度目の今回で(まだ続いているが!)、かなりの人が、やはり駄目なものはダメだということが、改めて分かったはずですから、たとえ第三波が来たとしても、その被害や混乱、そして、それに起因する不平・不満は、最小限にすることが出来るのではないのでしょうか?!

I：そうであればいいのですが…?

D：そうですよ!名も無き多くの良き人達は、まさにそうして生きているのですし、そうした人達の存在が、この社会のあり方を決めてきたことは、多分歴史の真実です!そうこうしているうちに、有効なワクチンや治療薬も出てくる?!つまり、それが、「三度目の正直」となる?! (つづく)